

硫酸アルミ分離装置

硫酸アルマイト液中からの硫酸アルミを分離して液の恒久化を図ります

装置の概要説明

- 1 装置に浴液を通液すると最初に硫酸アルミが排出されます。装置内部には高濃度の遊離硫酸が残り、そこに純水を通液することで高濃度の遊離硫酸を得ることができます。
- 2 浴液更新作業(浴液抜き出し、建浴作業)がなくなります。
- 3 有効な遊離硫酸を廃棄せずに回収して再使用できます。
- 4 自動運転により硫酸アルミ(他金属イオンも含む)が浴液から排出されます。
- 5 浴液中の遊離硫酸及びアルミ濃度が一定に保てるため、アルマイト製品品質が安定します。
- 6 応用として硫酸アルマイト浴液以外の酸洗浄廃液からも酸回収ができます。

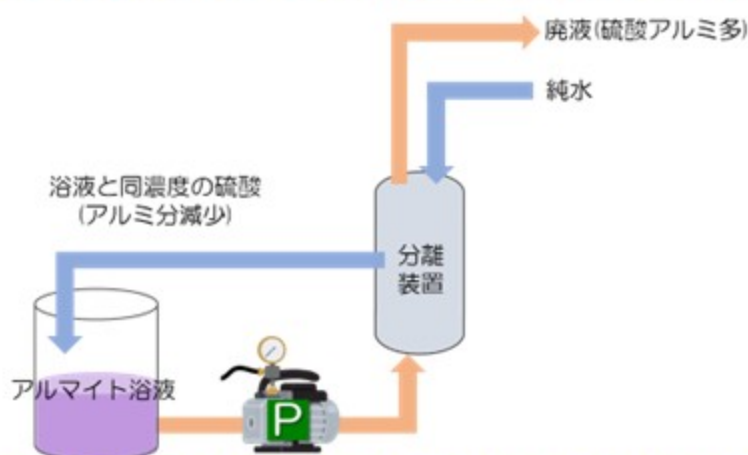


装置型式	H AIS-20
寸法	D1,000×W500×H1,600(mm)
重量	約200kg
電源	単相 100V 170W
分離時間	10min/サイクル
対象原液	硫酸アルマイト溶液
アルミ分離能力	Al(濃度10g/Lの場合) as 80~115g/サイクル

※ 必要エア圧力 5L/min 0.5MPa以上

上記の内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください

概略フロー図



お客様からの声

本装置設置によって、
浴液更新作業がなくなり、作業工数を含め
薬品を取り扱う危険作業がなくなりました。
大幅な作業改善効果をもたらしました。
さらに、作業毎に廃浴液中の遊離硫酸中和に
使用していた苛性ソーダが約50%削減できて
コストも大幅に削減できました。
アルマイト会社様